



八幡屋増築・改修工事
(第7期) (福島県)

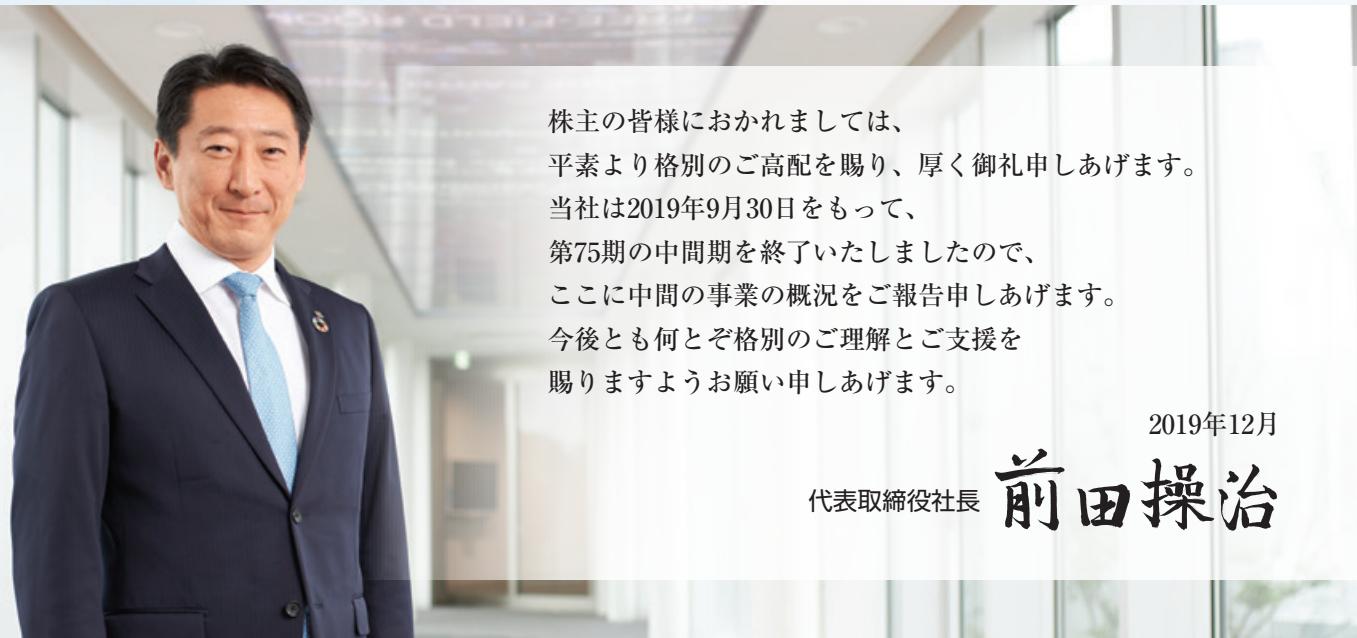
第75期 中間株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



前田建設工業株式会社

証券コード：1824



株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社は2019年9月30日をもって、
第75期の中間期を終了いたしましたので、
ここに中間の事業の概況をご報告申し上げます。
今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 **前田操治**

当中間期におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、高い水準で底堅く推移する企業収益や個人消費の持ち直し、雇用環境の着実な改善を背景に、景気は緩やかな回復が続きました。

建設業界におきましては、緩やかに増加する企業の設備投資や、底堅さが増している公共投資に支えられ、安定した受注環境が続きました。

このような状況のなかで、当社は、当事業年度を初年度とする中期経営計画「Maeda Change 1st Stage'19~'21」を推進するため、付加価値生産性向上への基盤を構築する「生産性改革」、新たなステージへの挑戦に向けた「脱請負事業の全社的推進」、新たな企業文化への変革に向けた土台を構築する「体質改善」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

今後の見通しにつきましては、中国などの海外経済の先行きや原油価格の上昇、金融資本市場の変動が懸念されますが、国内景気は雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。

建設業界におきましては、関連予算の執行を背景に依然として公共投資が底堅く推移していくことが期待され、受注環境は引き続き堅調に推移するものと予想されます。

このような状況のなかで、当社は、3か年の中期経営計画「Maeda Change 1st Stage'19~'21」を推進するため、当事業年度よりその重点施策である「生産性改革」「脱請負事業の全社的推進」「体質改善」に全社一丸となって取り組みを進め、更なる社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

当中間期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は前年中間期比7.4%増の2,373億円余、営業利益は前年中間期比7.5%増の180億円余、親会社株主に帰属する中間純利益は前年中間期比33.7%増の158億円余となりました。
部門別の状況は次のとおりであります。

【建設事業（建築事業及び土木事業）】

当社グループの建設事業の売上高は前年中間期比7.1%増の2,083億円余、セグメント利益は前年中間期比9.6%増の149億円余となりました。

当社グループの建設事業は、大半は当社が占めており、当社の受注高につきましては、建築事業は前年中間期比25.4%減の742億円余、土木事業は前年中間期比16.1%増の809億円余、受注高合計は前年中間期比8.3%減の1,551億円余となりました。

当社の売上高（完成工事高）につきましては、建築事業が前年中間期比4.5%減の1,090億円余、土木事業が前年中間期比26.7%増の805億円余、売上高合計は前年中間期比6.7%増の1,895億円余となりました。これにより手持工事高は前年中間期比0.2%増の5,606億円余となっております。

【製造事業】

製造事業は、建設機械の製造を中心に展開しており、売上高は前年中間期比8.6%増の183億円余、セグメント利益は前年中間期比9.5%増の7億円余となりました。

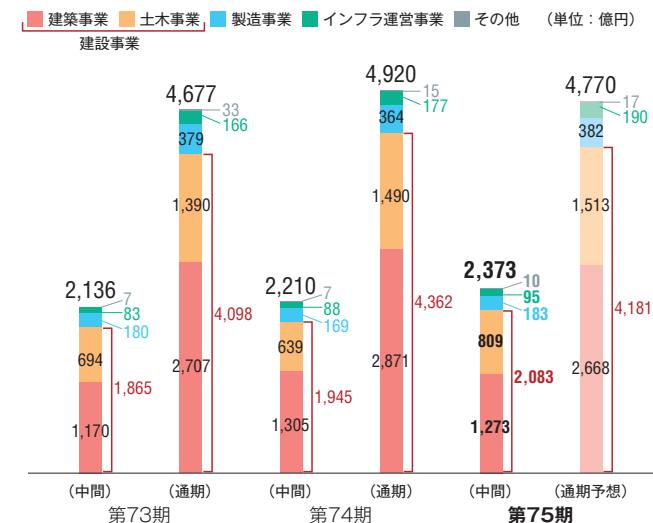
【インフラ運営事業】

インフラ運営事業は、再生可能エネルギー事業及びコンセッション事業を中心に展開しており、売上高は前年中間期比8.2%増の95億円余、セグメント利益は前年中間期比12.2%減の17億円余となりました。

【その他】

その他の事業は、不動産事業を中心に展開しており、売上高は前年中間期比40.4%増の10億円余、セグメント利益は前年中間期比39.7%増の4億円余となりました。

セグメント別売上高



当中間期における総資産は、受取手形・完成工事未収入金等の増加などにより前期に比べ187億円余増加し、7,363億円余となりました。負債は、短期借入金の増加などにより前期に比べ141億円余増加し、4,792億円余となりました。また、純資産は前期に比べ45億円余増加し、2,571億円余となりました。

以上の結果、純資産の額から非支配株主持分を控除した自己資本の額は2,437億円余となり、自己資本比率は前期の33.3%から33.1%となりました。

当中間期における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が209億円余増加したことなどにより、△152億円余（前年中間期は△68億円余）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得を72億円余行ったことなどにより、△126億円余（前年中間期は△93億円余）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が298億円余増加したことなどにより、265億円余（前年中間期は△74億円余）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間期末の残高は、前期に比べて14億円余減少し、551億円余（前年中間期は783億円余）となりました。

通期の業績予想につきましては、以下のとおり見込んでおります。

①売上高について

通期の連結ベースの売上高は、4,770億円を見込んでおります。

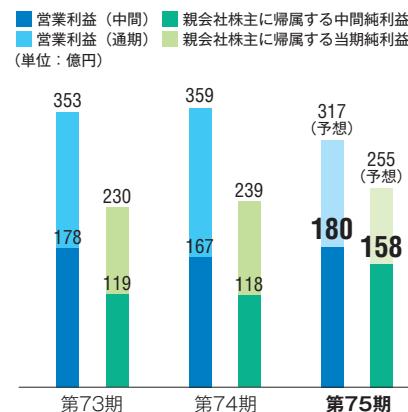
当社単体での売上高につきましては、建築事業が2,198億円、土木事業が1,500億円、インフラ運営事業が15億円、不動産事業が17億円、合計で3,730億円を見込んでおります。

②利益について

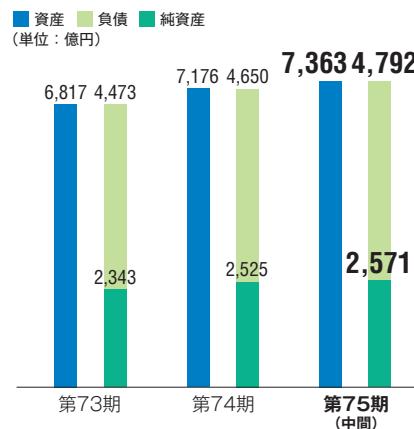
通期の連結ベースの利益は、営業利益が317億円、経常利益が350億円、親会社株主に帰属する当期純利益は255億円を見込んでおります。

当社単体での利益につきましては、営業利益が250億円、経常利益が272億円、当期純利益は210億円を見込んでおります。

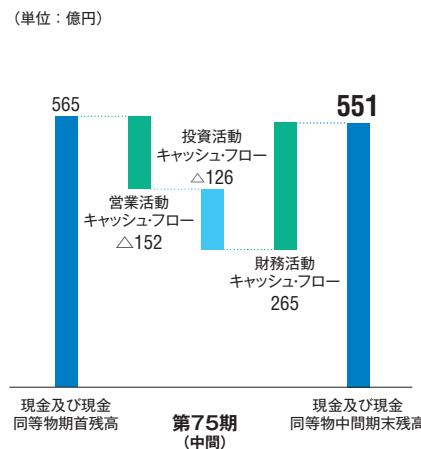
営業利益・親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



資産・負債・純資産



C/F (キャッシュ・フロー)



完成工事
建築



(仮称) 豊中市新・第2学校給食センター整備運営事業 (建設工事) (大阪府)



(仮称) 沖縄伊良部島計画 新築工事 建築・昇降機工事 (沖縄県)

完成工事
土木



北陸自動車道 (特定更新等) 太田高架橋床版取替工事 (平成29年度) (福井県)



東九州道 (清武～北郷) 九平トンネル新設工事 (宮崎県)

実写映画化決定!! 前田建設ファンタジー営業部

当社公式Webサイトで公開している「前田建設ファンタジー営業部」が主演・高杉真宙、脚本・上田誠、監督・英勉で実写映画化されることになりました。2020年1月31日(金)より全国の劇場で公開されます。

建設業のPRを目的として、2003年より若手有志職員からのボトムアップ活動として始まった取り組みは、社外を含めた、たくさんの方々のご協力をいただきながら活動を発展させ、書籍化(幻冬舎 2004年以降複数)、舞台化(ヨーロッパ企画 2013年)もされています。

そして、この度、映画作品としての可能性を感じた映画プロデューサーの企画により実写映画化となりました。

本作は、当社をはじめ、日立造船株式会社、株式会社栗本鐵工所、株式会社前田製作所にも撮影協力をいただき、撮影場所も上記3社と当社の複数施設に加え、静岡県川根本町の長島ダム(管理:国土交通省中部地方整備局)、福島県いわき市と田村市をつなぐ県道吉間田滝根線 広瀬1号トンネル工事(発注:国土交通省東北地方整備局)など実際のインフラや施工中の現場などでもロケを行い、建設業の魅力やスケールを伝える作品になっています。

ファンタジー営業部の社員たちが、「マジンガーZの格納庫の見積書作成」という無理難題に果敢に挑む姿を是非ご覧ください!



映画「前田建設ファンタジー営業部」

【原作】 「前田建設ファンタジー営業部1 「マジンガーZ」地下格納庫編」(幻冬舎文庫刊)
永井豪「マジンガーZ」

【脚本】 上田誠(ヨーロッパ企画)

【監督】 英勉

【出演】 高杉真宙 上地雄輔 岸井ゆきの 本多力 町田啓太 山田純大 鈴木拓 水上剣星
高橋努 濱田マリ 鶴見辰吾 六角精児 小木博明(おぎやはぎ)

【制作】 ADKクリエイティブ・ワン/パイプライン

【配給】 パンダイナミックコアーツ/東京テアトル

©前田建設工業株式会社/Team F ©ダイナミック企画・東映アニメーション

はじめは6年前。
「空想上の建築」を請け負う
「前田建設ファンタジー営業部」が
HPに誕生!

ファンタジー営業部がWeb連載を開始したのは2003年であり、当時の建設業は、3K、バブル崩壊後の建設不況、談合といった負のイメージが強い時期でした。

そのような時、インフラ建設に携わり技術力やマネジメント力を発揮する建設業の仕事に少なからず「やりがいと誇り」を感じていた若手有志職員の数名が、前田建設ファンタジー営業部というウェブコンテンツを立ち上げました。内容は、単に会社の知名度を上げるため



前田建設ファンタジー営業部公式ホームページより
<http://www.maeda.co.jp/fantasy/index.html>

の広告ではなく、建設業に全く興味のない方々に建設業の仕事の身を理解した上でファンになってもらうことを目的とし、読者に分かりやすく理解してもらう手段として、アニメやゲームに登場する構造物、建造物を建設すると工期、費用等はどうかというものです。

映画の舞台は
企画立ち上げ当時の2003年。
「やりがいと誇り」を胸に。

映画「前田建設ファンタジー営業部」は、実際に当社内でウェブ企画が立ち上げられた2003年を舞台に、アニメ「マジンガーZ」の出撃シーンで目にする地下格納庫兼プールを「現状の技術及び材料で建設するとしたらどうなるのか?」についてファンタジー営業部のメンバーが試行錯誤と七転八倒を繰り返しながら取り組んだ実話が元になっています。



アニメ「マジンガーZ」の地下格納庫兼プールにも着手!

大の大人が仮想の話に、これ以上ない本気!
人気・実力派キャスト&スタッフが
本物の工事現場で撮影敢行!

主演は映画「賭ケグルイ」や「ギャングース」などで活躍が
続く若手実力派の高杉真宙。

ファンタジー営業部を立案した破天荒な上司として小木博明



会社員役を熱演する主演の高杉真宙さん

(おぎやはぎ)。他にも、
上地雄輔、岸井ゆきの、
本多力、町田啓太、
六角精児らの実力派
の俳優陣が出演しま
す。

北海道新幹線 内浦トンネル (静狩)他 工事

施工の機械化により、省人化、工期短縮ならびに
工事従事者の安全性確保を同時に実現

当工事は、函館～札幌間を結ぶ北海道新幹線のうち、長万部駅～倶知安駅に位置する内浦トンネルで全体延長15km 570mのうち静狩工区本坑(延長5,570m)及び路盤(25m)の工事です。今年の1月からトンネルの掘削が始まり、現在、坑口から約550mの地点まで掘削が進んでいます。当工事ではトンネル掘削の際に、施工の機械化による省人化を図ることにより、工期短縮ならびに作業に携わる人の安全性の確保をしております。

北海道新幹線は2016年3月に新青森駅～新函館北斗駅間が開業しており、現在、施工中の新函館北斗駅～札幌駅の開業は2030年度末の開業予定です。開業後は函館～札幌間の所要時間が1時間13分と試算されており、現状の所要時間より大幅に短縮されます。

新青森方面のトンネル始点側から坑口前を望む



トンネル坑内を換気するための配管が設置されており、トンネル坑内まで配管が繋がっています。

工事の際に生ずる騒音を軽減するため、防音扉を坑口に設置しています。

工事用車両が通行するための仮設栈橋が設置されています。



奥:札幌方面

手前:新青森方面

坑内に設置されている配管は、坑内を換気するための設備です。



現場見学会実施の様子

当作業所は、地域の方々との交流にも力を入れており、近隣の小学校等、地域の方々を対象とした現場見学の実施や当社職員の例大祭への参加等、地域の方々との交流を深めています。

竣工までには、まだまだ工事が続きますが、安全第一と地域との融和を大切に職員・協力会社ともに、これからも工事を進めてまいります。

工事概要	
工 事 名	北海道新幹線、内浦トンネル(静狩)他
発 注 者	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局
所 在 地	北海道山越郡長万部町地内及び寿都郡黒松内町地内
工 期	2017年3月14日～2025年3月19日
工 法	NATM
延 長	5,570m



建設現場での女性の活躍を支える前田建設グループ

日本の大きな社会課題の一つとして「人口減少」があり、建設業界でも担い手不足が課題となっています。当社では、2014年よりダイバーシティ経営を推進しており、個の多様性を尊重し、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる「誰もが働きやすく、働きがいのある職場づくり」を目指し、様々な取り組みを実施しています。その取り組みの中で、建設現場で働く女性職員を支える取り組みについて紹介します。

ダイバーシティ推進に向けて

前田建設の関東圏で働く女性基幹職の交流「MAEDAみつば会」

当社の東京建築支店、東京土木支店、関東支店の関東圏で働く女性基幹職を対象とした会です。女性基幹職が土木・建築・事務といった職種を越えて交流を行い、女性ならではの悩みを相談しあい、情報共有や継続的な就労に対する課題を解決するための要望を本支店へ働きかけることを目的としています。対象となる3支店持ち回りで、年3回の会合を開催し、意見交換等を実施しています。



当社を含む現場横断組織「晴海プラチナ会」

当社の東京建築支店管轄の建築作業所である「晴海再開発5-5作業所」に加えて隣接工区の東急建設、長谷工コーポレーション、三井住友建設の作業所で働く女性が、所属している会社及び作業所の垣根を越えた取り組みを行い、女性だけではなく、男性にも働きやすい環境・雰囲気づくりを進めている会です。各社・各現場の取り組みを相互に紹介し合い、現場パトロールチェックリストを作成し、女性職員だけではなく、男性職員も巻き込んだ現場チェック及び意見交換を実施しています。

上記の取り組みの結果、本年5月8日に日建連主催の「第4回けんせつ小町活躍推進表彰」において、特別賞を受賞いたしました。



日建連主催の「第4回けんせつ小町活躍推進表彰」において特別賞を受賞

会社の枠を超えて「リコチャレ」にも参画

リコチャレとは理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生が、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、政府が中心となって行っている取り組みで、当社は理系の女子学生を対象



とした現場見学等を開催し、リコチャレに積極的に参画しています。

■ 連結財務諸表（中間）の要旨

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	358,765	336,374
固定資産	377,061	380,653
有形固定資産	68,329	66,365
無形固定資産	150,546	152,823
投資その他の資産	158,185	161,464
繰延資産	507	603
資産合計	736,334	717,630
負債の部		
流動負債	234,761	229,152
固定負債	244,464	235,896
負債合計	479,226	465,048
純資産の部		
株主資本	222,022	213,207
資本金	28,463	28,463
資本剰余金	36,830	36,798
利益剰余金	160,614	152,170
自己株式	△ 3,885	△ 4,224
その他の包括利益累計額	21,712	26,000
その他有価証券評価差額金	28,550	33,091
繰延ヘッジ損益	△ 29	△ 17
為替換算調整勘定	22	17
退職給付に係る調整累計額	△ 6,832	△ 7,091
非支配株主持分	13,373	13,374
純資産合計	257,108	252,582
負債純資産合計	736,334	717,630

□ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	237,311	221,034
売上原価	203,931	191,053
販売費及び一般管理費	15,344	13,209
営業利益	18,035	16,770
営業外収益	4,253	2,374
営業外費用	1,652	1,370
経常利益	20,635	17,774
特別利益	56	1,064
特別損失	39	52
税金等調整前中間純利益	20,652	18,786
法人税、住民税及び事業税	3,562	4,632
法人税等調整額	391	1,332
非支配株主に帰属する中間純利益	803	934
親会社株主に帰属する中間純利益	15,894	11,886

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,203	△ 6,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,693	△ 9,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,576	△ 7,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 84	159
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 1,405	△ 23,494
現金及び現金同等物の期首残高	56,570	101,885
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,165	78,391

■ 会社の概要 (2019年9月30日現在)

■ 創業

1919年1月8日

■ 設立

1946年11月6日

■ 事業目的

1. 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
2. 建設及び運搬用機械器具各種鋼材製品の設計、製造、修理、販売並びにこれに関連する工事の請負
3. 不動産の売買、賃貸、仲介、管理及び鑑定その他

■ 資本金

28,463,349,309円

■ 従業員

3,213名 (連結4,381名)

■ ホームページアドレス

<http://www.maeda.co.jp/>

■ 発行可能株式総数

635,500,000株

■ 発行済株式総数

194,608,482株

■ 単元株式数

100株

■ 株主数

8,033名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
光が丘興産株式会社	24,311 ^{千株}	12.51 [%]
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,321	5.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,876	4.57
前田道路株式会社	7,900	4.06
株式会社みずほ銀行	5,100	2.62
JP MORGAN CHASE BANK 385632 (注)	4,876	2.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (注)	4,568	2.35
株式会社三井住友銀行	4,150	2.13
住友不動産株式会社	3,885	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,212	1.65

(注) 常任代理人 株式会社みずほ銀行

■ 役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役副会長	福田 幸二郎
代表取締役社長	執行役員社長 福前 田 操 治
取締役 専務執行役員	関本 昌 吾
取締役 専務執行役員	足立 宏 美
取締役 専務執行役員	近藤 清 一
取締役 専務執行役員	今泉 保 彦
取締役 常務執行役員	岐部 一 誠
取締役 常務執行役員	大川 尚 哉
取締役 常務執行役員	中島 信 之
取締役 常務執行役員	中西 隆 夫
取締役	土橋 昭 夫
取締役	幕田 英 雄

常勤監査役	伊藤 雅 規
常勤監査役	大嶋 義 隆
常勤監査役	小笠原 四 郎
監査役	佐藤 元 宏
監査役	篠 連

専務執行役員	幡 鎌 裕 二
常務執行役員	東海 林 茂 美
常務執行役員	川島 要 一
常務執行役員	西本 哲 二
常務執行役員	永重 雅 守
常務執行役員	諏訪 俊 雅
常務執行役員	石黒 泰 之
執行役員	藤 藁 昭 雄
執行役員	山田 美 智 雄
執行役員	五十嵐 勝 美
執行役員	畑 宏 幸
執行役員	三島 徹 也
執行役員	田原 悟 行
執行役員	阿部 美 亮
執行役員	田川 亮 夫
執行役員	鈴木 章 成
執行役員	山田 尚 仁
執行役員	脇屋 賢 治
執行役員	浜野 忠 信
執行役員	安西 忠 基
執行役員	東山 基

(注) 1. 取締役土橋昭夫及び取締役幕田英雄の両氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役伊藤雅規、監査役佐藤元宏及び監査役篠連の3氏は、社外監査役であります。

—■ 事業所

本 店	東京都千代田区富士見二丁目10番2号 〒102-8151 ☎(03) 3265-5551	四 国 支 店	高松市寿町一丁目1番12号 〒760-0023 ☎(087) 851-6341
本 店 (建築設計部門)	東京都千代田区飯田橋三丁目11番18号 〒102-0072 ☎(03) 6256-8700	九 州 支 店	福岡市博多区博多駅東二丁目14番1号 〒812-0013 ☎(092) 451-1541
光が丘本社	東京都練馬区高松五丁目8番20号 〒179-8903 ☎(03) 5372-4700	沖 縄 支 店	那覇市西1丁目19番9号 〒900-0036 ☎(098) 863-2841
北海道支店	札幌市中央区大通西七丁目1番1号 〒060-8632 ☎(011) 252-7320	国 際 支 店	東京都千代田区九段北四丁目3番1号 〒102-8215 ☎(03) 3222-0855
東 北 支 店	仙台市青葉区二丁目4番11号 〒980-0802 ☎(022) 225-8862	ICI総合センター	取手市寺田5270番地 〒302-0021 ☎(0297) 85-6171
関 東 支 店	さいたま市大宮区吉敷町一丁目75番1 〒330-0843 ☎(048) 649-1601	営 業 所	全国22ヶ所
東京建築支店	東京都千代田区九段北四丁目3番1号 〒102-8215 ☎(03) 3222-0820	海外事業所	香港出張所(中国) バンコック出張所(タイ) プノンペン出張所(カンボジア) 台湾出張所(台湾) スリランカ出張所(スリランカ) 米国出張所(米国) ヤンゴン出張所(ミャンマー) ジャカルタ出張所(インドネシア) メキシコ出張所(メキシコ) ハノイ駐在員事務所(ベトナム)
東京土木支店	東京都千代田区飯田橋一丁目12番7号 〒102-0072 ☎(03) 3222-0850		
北 陸 支 店	富山市牛島町18番7号 〒930-0858 ☎(076) 431-7531		
中 部 支 店	名古屋市中区栄五丁目25番25号 〒460-0008 ☎(052) 251-6251		
関 西 支 店	大阪市中央区久太郎町二丁目5番30号 〒541-8529 ☎(06) 6243-2411		
中 国 支 店	広島市中区鶴見町4番22号 〒730-0045 ☎(082) 246-9181		

—■ 株主メモ

1. 事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
2. 定 時 株 主 総 会 6月中
3. 上 記 基 準 日 3月31日 なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 剰 余 金 の 配 当 毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
5. 単 元 株 式 数 100株
6. 株 主 名 簿 管 理 人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
7. 公 告 方 法 当社のホームページ (<http://www.maeda.co.jp/>) に掲載します。
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
☎0120-288-324 (フリーダイヤル)

証券会社をご利用の場合、住所変更や買取請求はご利用の証券会社にお問い合わせください。未払配当金の支払い、株式配当金支払明細書の発行に関する手続きまたは特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記みずほ信託銀行にお問い合わせください。

